

<http://kaneru.sakura.ne.jp>



俺の心を
ブチ抜いた
強烈パワー
に脱帽

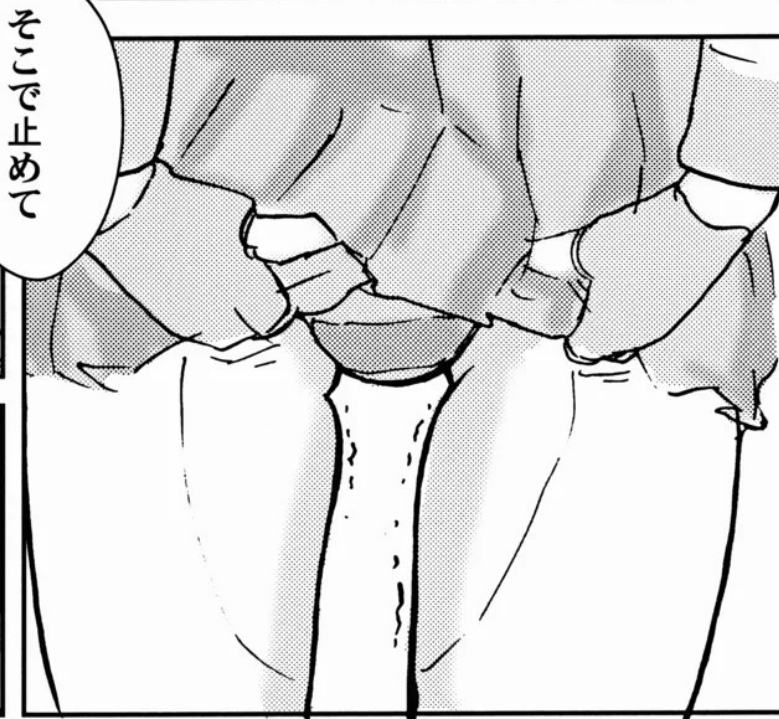
Under Village
Presents

ADULT ONLY

がちんこ
7V











あつあつ
手が勝手に！

もう、パンツの中で
シコっちゃつて…余計に
えつちなんだけど。

ああつ！
だめです、マスター
見ちゃだめえ。

み、みられちゃう！
ああつ

メルザがいつぱい
シゴいちゃうとこ、マスターに
見られちゃうううっ！

ふぐつ



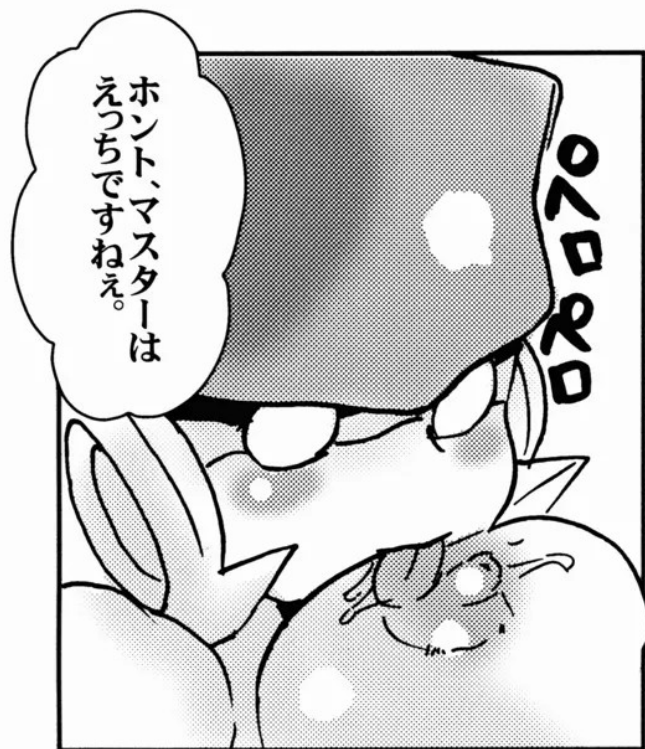
あぐうう
でちやいますうう！

マスターがこんな体に
設定したんじゃないですか
でもすぐにマスターも...

マスターの私より先に
気持ちよくなつちやったの？

あらあら：ロボのくせに
こんなにいっぱい！



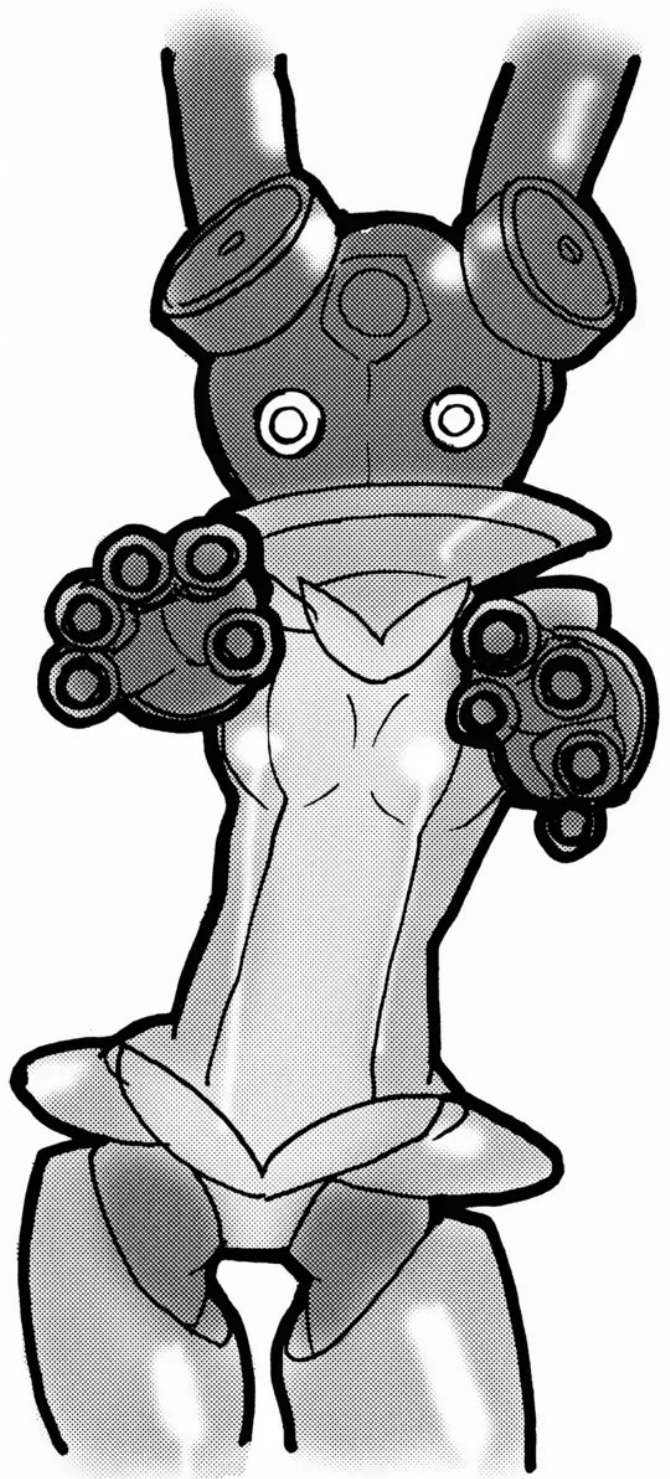








ロボ考察



ロボ娘に今回戻ったのは、右図にもあるように「世界征服謀略のズヴィズダー」というアニメの「ロボ子」(そのまやなを見たからです。まあ、個人的にはこの作品には、いろいろと意見があるのですが、それはここでは書きませんが影響というか、刺激を受けまして。

私の作品で出てくる「ネコロイド」シリーズことロボ娘は歴史が古く90年代に創作したものです。

以前もロボ本出したときにも書きましたが、もともとコブラのレディとかセクシーかつ頼りになる相棒的なロボットが好きで、自分の作品では大体メイドとか召使で出てきます。今回は全部ロボだけで漫画を描こうと

したのですが、さすがに読み手がついてこれないかと、これまた私の作品では最古参にあたるプリズ嬢に参加してもらいました。彼女は創作したのが

80年代で、ちょうどインディジョーンズにはまっていた時期で、考古学者でトレジャーハンターという設定で、フタナリ設定もこの時点で決まっています。

このコンピの普通の物語も、ネームでは書いてますが、作品としては描いてません。いつか発表できたらとは思ってます。

ロボとの性交についてですが、近い未来にいわゆるタッチワイフ的なドールとして実現しそうな気がします(動きなしのものありますね)もしかすると介護の分野から派生するかもしれないとらんでいます。私の作品ではフタナリという特殊ジャンルでの表現でしたが、確認してませんがロボとセックスという表現はすでに誰かかいてると思います。ロボ側が男性だったり、もつとメカそのものであれば言わずもがなです。

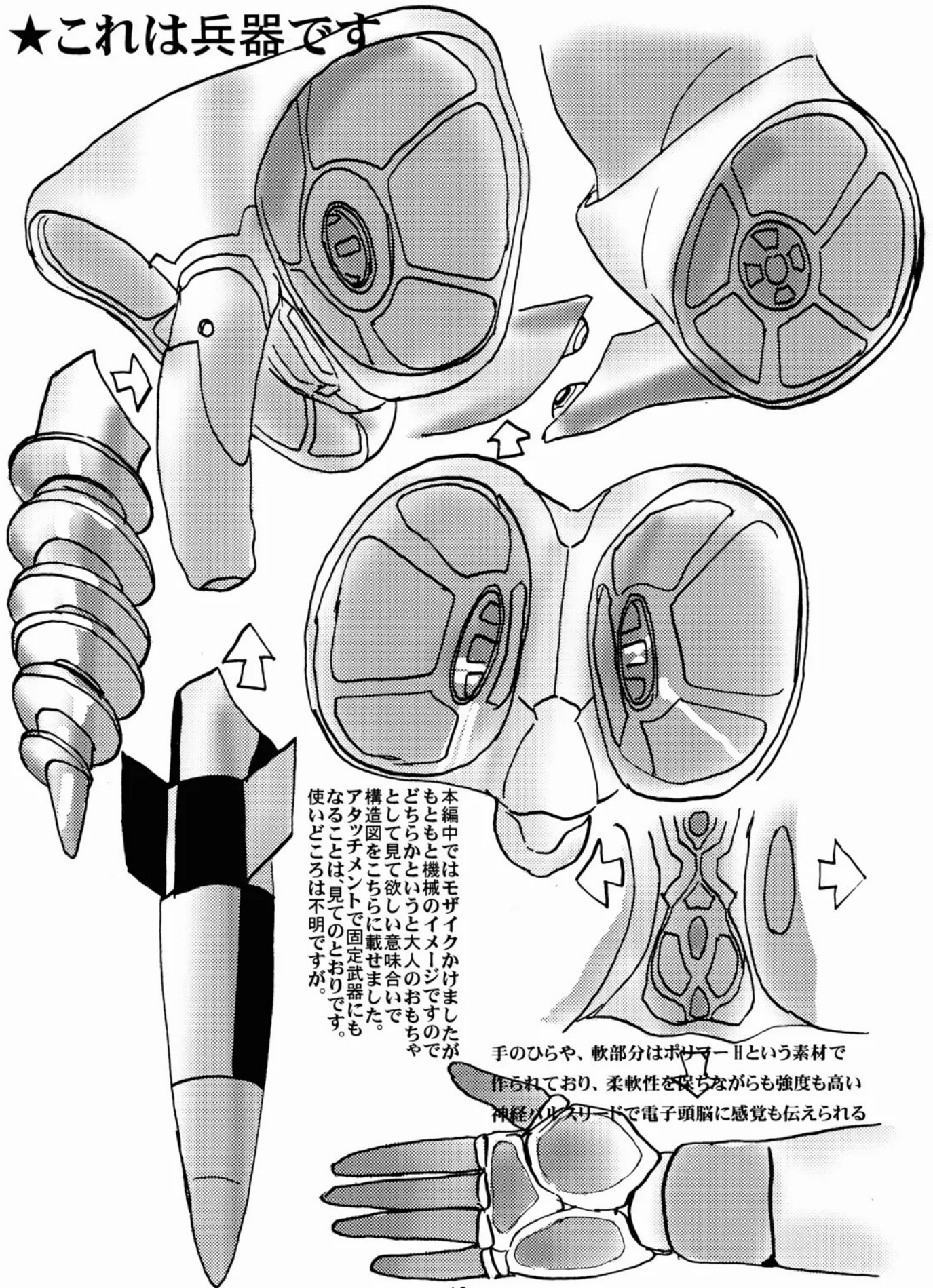
ただ、私が言いたいのは、ロボを無機質な相手としてではなく、相棒として、さらにはパートナー(嫁?)としてみた場合の愛情があるかないかということです。

私の場合、古くは鉄腕アトム、メトロポリスのミッチイのような人造人間でも感情や個性を持たされ、愛され、見放され、愛を求めるといったキャラクターにあこがれるのです。

その愛の形態としての性行為は、求められて当然だと思っわけです。

今回はじめてのチャレンジでしたが、思いのほか描いて面白かったので好評でしたら続編もあります。

★これは兵器です



本編中ではモザイクかけましたが
もともと機械のイメージですの
どちらかというと大人のオモちゃ
として見て欲しい意味合いで
構造図をこちらに載せました。
アタッチメントで固定武器にも
なることは、見てのとおりです。
使いどころは不明ですが。

手のひらや、軟部分はポリマーIIという素材で
作られており、柔軟性を保ちながらも強度も高い
神経パルスリードで電子頭脳に感覚も伝えられる

あとがきみたいなの

どうも KANERU-S です。

このたびは、がちんこ 7 V ご拝読ありがとうございます。

今回のタイトル「俺の心をプチ扱いた・・・」は某社のエアガンのパッケージコピーの誤植で「抜いた」が「扱いた」になっていた事に由来しています。まあどちらでもフタナリ漫画的にはエロ用語にしか聞こえなかったのでサブタイトルに採用しました。

今回もいつものごとく時間がなくてかなり仕上がりが雑で申し訳ないです、今の仕事の正社員になったので、時間的余裕がもっと出来る予定だったのが、うまくいかなかった感じですかね。いずれは仕事をもっと覚えて時間のやりくりもきちんとしてくると思います。

さてはて、今後の作品作りは今のところ未定ですが、ふたけっととコミケは参加し続けたいので、今後ともゆるい目で見守ってください。



誌名 がちんこ 7V

発行 あんだあ☆びれっじ

印刷 株式会社 POPLS

発行日 2015 11 月

本誌の図画・文章の無許可の引用・転用
を禁止いたします。

462-8799 名古屋北郵便局私書箱 62 号

中部日新気付 あんだあ☆びれっじ編集部

kaneru.sakura.ne.jp



俺の心をブチ扱いた
強烈パワーに脱帽

